

# 第27回 都島メディカル・カンファレンス

日時：平成31年2月9日（土） 午後3時～5時

会場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール

対象：医療従事者

本会は、医師会と大阪市立総合医療センターが近隣の診療所・病院勤務医師の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心にカンファレンスを行っています。

このカンファレンスを通じて診療レベルが向上し、相互の親睦も深まり、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

## 症例

- ◆「非痙攣性てんかん重積状態と考えられた遷延性意識障害の一例」

初期急病診療部 坂田 美奈

- ◆「発熱と不随意運動が継続した悪性症候群の1例」

総合診療科 山中 英樹

## 特別講演

### 「ビデオでみる

### 「ふるえ」のいろいろ」

 神経内科 井上 学

神経内科部長  
井上 学

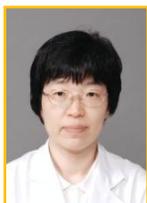
「ふるえ」は神経内科領域においてよく経験する症状の1つです。  
「ふるえ」と言えば不随意運動の中の振戦を連想しますが、それ以外にも様々な神経障害で「ふるえ」は出現します。また、一口に振戦といっても出現の仕方や発生機序はさまざまで静止時振戦、姿勢時振戦、動作時振戦といった症状による分類や、生理的振戦、末梢性振戦、中枢性振戦のように発生機序によって分類がなされる場合があります。  
今回の講演では、様々な「ふるえ」をビデオで提示し、その原因について解説していきたいと思っております。今後の診療に少しでもお役にたてれば幸いです。



総合診療科部長  
後藤 仁志

今回のテーマは日常診療においてしばしば遭遇して鑑別に難渋するのが不随意運動です。神経の徴候は教科書的には様々な名前がついた鑑別診断に直接結びつくものが多数あります。しかし、実際は典型的なものは少なく経験が少ない非専門科にとってはハードルが高く感じられるものです。

私たちが経験した症例について討論し、井上学神経内科部長にわかりやすく講演していただくことで実践で役に立つ知識を得る機会となればと考えております。



初期急病診療部部長  
山田 明子

当科は当院通院中の患者さんや地域医療機関からの紹介患者さんを中心とした成人内科系の緊急診療を行っています。診察依頼につきましては、緊急専用電話（平日8時45分～20時まで対応）をご利用いただければ、スタッフが直接対応させていただきますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

今回当科からは高齢者の遷延性意識障害で鑑別にあげるべき疾患である、非痙攣性てんかん重積の症例を提示します。日常診療において参考にしていただければ幸いです。

申込書・案内図は裏面をご覧ください。

# 第27回都島メディカル・カンファレンス（MMC）FAX申込書

## 大阪市立総合医療センター地域医療連携センター

### 申込FAX番号 06-6929-0886

お手数ですが、枠内にご記入の上、FAXにてご送信ください。ご参加いただける方のお名前の記載をお願いします。

なお、誠に勝手ではございますが、**2月2日（土）**までにご返信ください。

<b>参加者氏名</b>	
①	職種
②	職種
③	職種
④	職種
<b>施設名</b>	
<b>施設所在地等</b>	<b>住所</b>  <b>TEL</b>

【案内図】



大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール  
大阪市都島区都島本通2-13-22

最寄り駅

- 大阪メトロ（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
- JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

【事務局】

総合診療科 後藤 仁志  
初期急病診療部 山田 明子  
お問合せ：地域医療連携センター 藤井・藤本  
☎06-6929-3633（直通）